

きずな158号に全ての文面を掲載できませんでしたのでHPに全文掲載いたします。

ご多用のところ杉山先生より「子どもたちのために」と多大なるご協力を賜りました。

心より御礼申し上げます。

今年から中学2年生に始まるピロリ菌の検査ってなに？

～知っておきたいヘコリバクターピロリ菌除去について～

お話 松本市医師会 会長 杉山敦先生（杉山外科医院院長）
聞き手 佐々木奈美（山辺中）

松本市は今年から中学2年生の希望者にピロリ菌感染の有無を調べる検査を始める計画だそうです。検査を受ける前に知っておきたい知識を杉山先生にお教えいただきました。

佐々木 ピロリ菌とはなんですか、また感染経路について教えてください？

杉山先生（以下先生） ピロリ菌は胃の粘膜に感染する細菌です。胃粘膜に長く感染し慢性胃炎をおこし胃癌の原因となります。感染は経口感染であり、昔は水系感染がありましたが水道が完備した現代では乳幼児期の親子感染が主とされます。成人小児ともに1週間の服薬で除菌治療をすることができます。

佐々木 なぜ中学2年生で検査をするのですか？

先生 ピロリ菌感染がおこるのは乳幼児期までであり中学生年齢以降の感染はまれなこと、ピロリ菌に対する抗体産生がしっかりし検査の精度が高くなること、検査やピロリ菌除菌治療の意義を理解していただける年齢であること、陽性者は成人するまでに除菌治療を受けて頂きたいことなどが中学2年生に検査をする理由です。

佐々木 ピロリ菌を除去しないとどのようなリスクが生じるのですか？

先生 ピロリ菌感染は今も日本で約5万人が亡くなる胃がんの主な原因であり、また慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、ある種の胃のリンパ腫、特発性血小板減少症性紫斑病、鉄欠乏性貧血にも関係しています。

佐々木 検査方法はどのようなものですか？痛いのですか？

先生 松本市は小児生活習慣病予防検診として小学4年生と中学2年生の血液検査(秋)と尿検査(春)をおこなっています。尿と血液中のピロリ菌抗体を調べることにより、ピロリ菌検査のために例年より尿を多く採ったり採血回数や採血量を増やすということなく検査ができます(1次検査)。1次検査で陽性になった場合、2次検査として尿素呼気試験という検査を無料で行います。

佐々木 もしピロリ菌が発見されたら、どう対処すればよいのでしょうか？

先生 中学生におけるピロリ菌陽性率は4~5%とされています。2次検査陽性の場合には指定医療機関を受診いただき専門医からピロリ菌感染症についてまた除菌治療や内視鏡検査について説明を受け、今後の方針を決めて頂きます。将来の胃がん予防のため、ぜひピロリ菌除菌治療を受けてほしいとおもいます。

佐々木 子どもが見つかった場合親も検査をしたほうが良いですか？

先生 お子さんがピロリ菌陽性の場合はもちろんですが、胃の検査をしたことのない方は是非一度胃内視鏡検査を受け、ピロリ菌の有無を確認頂きたいと思います。松本市は40歳から75歳の5歳間隔節目年齢の方に血液のピロリ菌抗体と胃粘膜萎縮の指標をしらべ胃癌発症のリスクの有る方を内視鏡検

査に誘導する「ABC胃がんリスク検診」を行っていますので利用ください。ピロリ菌陽性の方が除菌治療をする意義は第一に自分の胃癌発症の予防であり、第二に子供や孫の世代へのピロリ菌感染を防止することです。

佐々木 松本市はピロリ菌の最先端の取り組みをされているそうですが？

先生 松本市はピロリ菌の発癌性の動物実験による証明など多くのピロリ菌に関する医学情報を発信してきた街です。松本市医師会は使命感を持って思春期を松本で過ごした方ならびに ABC 胃がんリスク健診を受けた方の胃癌発症と胃癌死亡が減少することを目指す施策を進めたいと考えています。

佐々木 本日はご多用の中、ありがとうございました。